

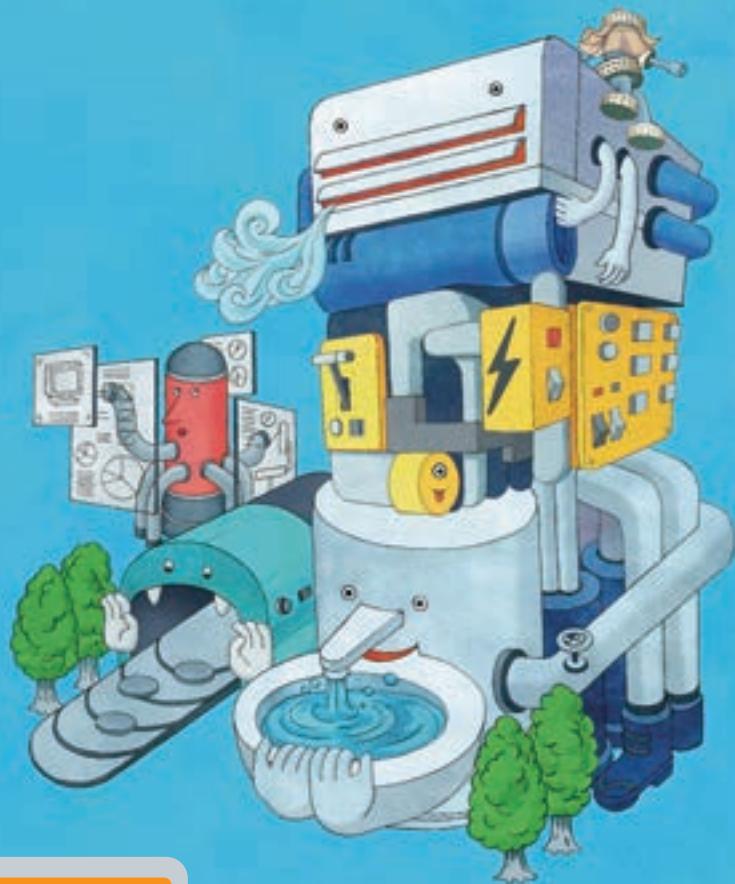
カイトキをカタチに。

三機工業は、空気、水、電気、搬送など、
様々な社会インフラを支えています。

ビルや工場など建物の設備の設計・施工から
メンテナンス・運転管理・リニューアルまで、
設備のライフサイクル全体を

サポートすることで、

ずっとそっと世の中を快適にしています。



全部やっています。

世の中を快適にする仕事
 **三機工業**

CM公開中!

詳細は当社HPを
ご覧ください。▶



三機工業 カイトキをカタチに 検索

 **三機工業株式会社**

〒104-8506 東京都中央区明石町8の1 聖路加タワー
TEL.03-6367-7041 FAX.03-3541-6676
<https://www.sanki.co.jp/>



 **三機工業株式会社**

証券コード: 1961

株主通信

第2四半期決算のご報告

[2021年3月期]

2020年4月1日～2020年9月30日

Engineering for the Future



代表取締役社長
石田 博一

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社グループに格別のご支援を賜り、心より御礼申しあげます。2021年3月期第2四半期決算のご報告にあたり一言ご挨拶させていただきます。

当社グループは現在、3ヵ年中期経営計画「**“Century 2025” Phase2**」にもとづき、ステークホルダーの皆さまの「信頼」を高めていく取り組みを推進中です。計画2年目の当期は、建築設備事業における施工体制および現場支援体制の拡充、施工品質の確保、安全衛生と生産性の向上など、コア事業の強化を図るとともに、さらなる成長に向けた次世代技術の創出、三機ブランド向上への施策に注力しています。

上半期の事業環境は、新型コロナウイルス感染拡大による直接的な影響は他業種と比較し少ないものの、企業収益の悪化を背景とした民間設備投資の需要減少が懸念されています。感染症の状況は、依然として収束の見通しが立たず、予断を許さない様相を呈しています。引き続き状況を注視しつつ、的確かつ迅速な対応に努め、中期経営計画の達成に向けて邁進してまいります。

今後とも当社グループ事業へのご理解とともに、長期のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

2020年12月

上半期のご報告と通期の見通し

当上半期の業績は、受注高が前年同期比で23億円増加し、1,032億円となりましたが、売上高は918億円から808億円に減少しました。

利益面は、減収の影響により営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益の各利益項目において減益となりましたが、採算性は高水準を維持しています。

主要事業別に営業状況を振り返りますと、建築設備事業は、産業空調の大型案件獲得により受注高が増加しましたが、売上高は大型工事が端境期になったことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による小口・諸口工事の減少により減収減益となりました。また、機械システム事業

は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、受注高・売上高とも減少しました。一方、環境システム事業は受注高、売上高ともに増加となりました。

当上半期末の繰越受注高は、当期首から224億円増加し、1,585億円と高い水準を維持しています。

通期業績については、期初の予想数値を変更せず、受注高1,900億円、売上高2,000億円、営業利益90億円、経常利益95億円、親会社株主に帰属する当期純利益65億円を見込んでいます。

なお今回の中間配当は、期初の予定通り1株当たり35円とさせていただきます。期末配当についても同額の実施を予定しており、年間配当額は合わせて同70円となる見通しです。

受注高



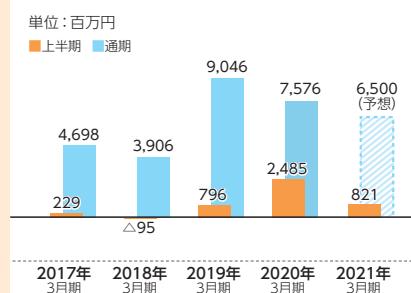
売上高



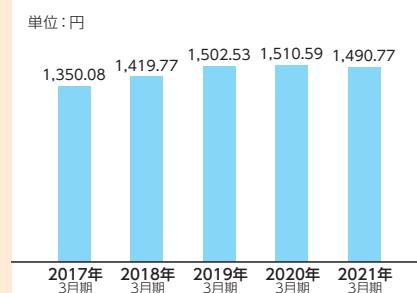
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益



1株当たり純資産額



1株当たり四半期(当期)純損益



「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度 10周年

お客さまとともに地球温暖化防止・持続可能な社会の実現に貢献する「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度が、2020年10月で10周年を迎えました。本制度では、お客さまにCO₂削減につながる設備の省エネルギー提案を行い、ご採用いただいた場合、その削減量をエコ貢献ポイント（1トン当たり100円）に換算し、環境保全活動を助成しています。初年度（2010年度）からの寄付金額累計額は21,203,200円、植樹本数は約17,000本（約5ha）。当社がお客さまとともにつってきた森の広さは、東京ドームとほぼ同じ面積に相当します。

本制度が10周年を迎えたことを記念して、お客さまへの感謝の気持ちをこめ、山梨県甲斐市にある「三機の森」（当社創立90周年記念時より継続的に植樹・育樹活動を行っている区域）に隣接する場所に、新たに「感謝の森」をつくり植樹活動を行いました。

当社は幅広い事業領域で省エネ・創エネなどに取り組み、エンジニアリングをつうじて快適環境を創造する中で、「持続可能な社会」の実現に貢献しています。今後も引き続き本制度を積極的に展開しCO₂削減に取り組み、植樹・育樹活動を通して地球環境を守る森づくりに貢献してまいります。

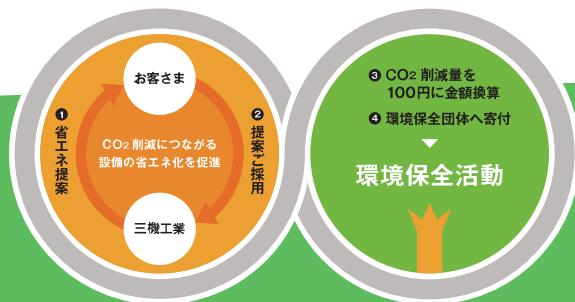


SANKI YOU
ECO2 POINT

SANKIのCO₂削減提案

ご採用いただくと、
森が増えます。

社会の発展と環境との調和を目指す、「SANKI YOUエコ貢献ポイント」のシンボルマーク。ECO2…エコ (Ecology) に貢献 (Contribution) することによって、CO₂を削減します。



SANKI YOUエコ貢献ポイントは、森づくりに活かされています。

空調技術で快適な作業環境を実現

「ペリループ」を大規模グリーンハウスに導入

野菜の栽培・販売を行う株式会社サラは2019年、本社を置く岡山県笠岡市に国内最大規模（約13ha）の半閉鎖型グリーンハウスを3棟建設しました。

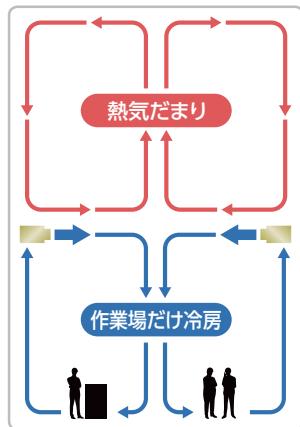
トマト・パプリカ・レタスを栽培するグリーンハウス各棟は、自然光を利用するため全面ガラス張り、換気窓の閉鎖時間を極力長くし、野菜にとって好適な環境を維持しています。一方で、日射量が多い夏期は、併設の作業室内が高温になる問題がありました。そこで当社は、トマト棟・パプリカ棟の集荷エリアとレタス棟の播種室・集荷エリアに大空間向け温度成層空調システム「ペリループ」を導入し、夏期の作業環境を改善しました。

高さ7.5m、広さ3,800㎡にもなるトマト棟・パプリカ棟の集荷エリアのような大空間全体を空調するには、膨大なエネルギーが必要になります。「ペリループ」は、床上3mほどの壁面に配置したループ状のダクトから気流を高速で吹き出し、人の活動領域を中心に温度成層を構築することで、効率的な空調を可能とします。標準仕様の「ペリループ」は、冷気・暖気を床面に向けて吹き出しますが、今回は冷房専用の用途であるため、吹き出し口をダクトの横面に取り付け、室内の中央部に向けて冷気を吹き出す構造に改良しました。

当社は、これからも快適な空間を構築する空調技術を追求めてまいります。



▲トマト棟・パプリカ棟の集荷エリアに導入したペリループ



▲温度成層空調システム「ペリループ」における空気の動き



▲トマト棟の栽培エリア

施工担当者



中国支店 建築設備技術1部
村上 聖

グループの総合力で地域社会に貢献

廃棄物処理施設の建設と長期運営を一括受注

2020年3月、佐賀県の天山地区にエネルギー回収型廃棄物処理施設「クリーンヒル天山」が竣工しました。同施設は、当社が多久市・小城市の共同環境組合より全体の建設工事と20年間の運営業務を、当社グループにとって初のDBO方式（行政が公共施設の設計・建設と運営・維持管理を民間事業者に一括発注する方式）により一括受注しました。施工は当社と地元企業のジョイントベンチャーで行い、運営は当社グループの三機化工建設株式会社が担当しています。

今回の施工では特に、設備を長寿命化する技術の採用や安定した設備の稼働、環境負荷の低減に注力しました。運び込まれた一般廃棄物をいったん集約するごみピットは、ごみの受入と貯留とに分けた「ダブルピット方式」を採用。ごみ貯留ピットで燃えやすいごみと燃えにくいごみを攪拌し、均質化することで

焼却炉を安定稼働させています。焼却炉には、当社独自の「水冷式ストーカ（可動火格子）」を採用。水冷によって表面温度を70℃以下に冷却し、ストーカの耐久性を大幅に向上しています。また、排ガスの一部を再び焼却炉に戻すことで、燃焼時に窒素酸化物の発生を抑制する「排ガス循環システム」やダイオキシン類を分解除去する触媒バグフィルタなど、高度な排ガス処理技術を導入し、有害物質の発生を低減しています。

そして、長期にわたる運営業務を円滑に遂行すべく、情報の保全管理に優れた「カルテミクスシステム」の導入とともに、同施設の中央制御室と当社を通信回線で結んだ「遠隔管理システム」を構築。トラブル発生時にも迅速に対応できる体制を敷いています。

今後も地元企業と連携し、地域に必要な施設運営を通じて社会に貢献してまいります。



▲水冷ストーカ式焼却炉



▲「クリーンヒル天山」外観

施工担当者



三機化工建設株式会社 維持管理部
石丸 芳広（左）
環境システム事業部
熟エンジニアリング1部
登坂 充博（右）

当社保有技術を通じた感染収束への貢献

当社は、新型コロナウイルス感染症の早期収束に貢献することを目的として、「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」の趣旨に賛同し、本宣言に参加しました。それに伴い、新型コロナウイルス感染症のまん延終結を目的とした行為に対しては、一切の対価や補償を求めることなく、保有する特許権・実用新案権・意匠権・著作権の権利を一定期間行使しないことを宣言。これまでに9つの特許権を開放しています。

対象となった当社保有技術は、医療施設や研究施設での導入実績があり、感染防止対策に貢献すると考えられる技術です。開放している特許権の概要につきましては当社HP*でも公開しています。

当社は引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めるとともに、空気調和設備をはじめとする当社技術が事態の収束に貢献できるよう取り組んでまいります。



開放した特許権の一例

名称	無菌室ユニット
概要	無菌室内で治療を受ける患者の騒音（ファン運転音）や吹出気流による不快感を少なくした無菌室。無菌室を構成する部材とダクトを併用することで無菌室内のスペースが増大し、ベッドの出し入れを行いやすい。
適用可能性	医療機関等での感染防止対策



※詳細は、<https://www.sanki.co.jp/csr/social/covid19/> をご確認ください。

連結貸借対照表の概要

単位：百万円

科目	前期末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)
流動資産	130,765	97,739
固定資産	50,040	51,948
資産合計	180,805	149,688
流動負債	79,705	52,395
固定負債	13,735	11,129
負債合計	93,440	63,525
純資産合計	87,364	86,163
負債純資産合計	180,805	149,688

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

科目	前第2四半期（累計） (2019年4月1日から2019年9月30日まで)	当第2四半期（累計） (2020年4月1日から2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,369	△7,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△584	△897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,184	△4,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,865	33,378

株式の状況 (2020年9月30日現在)

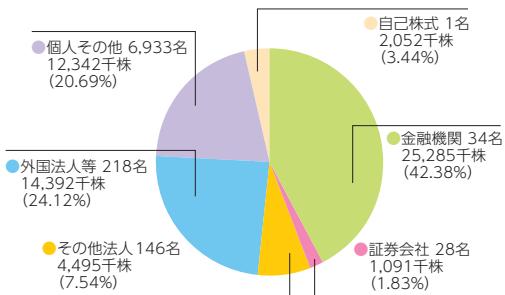
発行可能株式総数	192,945,000株
発行済株式総数	59,661,156株
株主数	7,360名

大株主 (2020年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	5,630	9.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,859	8.43
大樹生命保険株式会社	3,134	5.44
三機共栄会	2,871	4.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,670	4.64
日本生命保険相互会社	2,324	4.03
三機工業従業員持株会	1,320	2.29
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505001	1,105	1.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	950	1.65
エムエスアイピークライアントセキュリティーズ	937	1.63

(注) 当社は自己株式2,052千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を除いて計算しております。

所有者別株式分布状況 (2020年9月30日現在)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月下旬
 株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日
 (2) 期末配当金 3月31日
 (3) 中間配当金 9月30日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めております。

公告掲載方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
 (当社ホームページ <https://www.sanki.co.jp/> に掲載します。)

単元株式数 100株
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

会社概要

会社名 三機工業株式会社
 英文社名 SANKI ENGINEERING CO. LTD
 創立 1925年4月22日
 資本金 81億518万円(2020年9月30日現在)
 事業内容 建築設備事業、プラント設備事業、不動産事業
 従業員数 連結 2,579名 個別 2,063名(2020年9月30日現在)

事業所一覧 (2020年9月30日現在)

支社 3ヶ所
 支店 15ヶ所
 総合研修研究施設 1ヶ所
 工場 1ヶ所

連結子会社 (2020年9月30日現在)

三機テクノサポート株式会社
 三機産業設備株式会社
 三機化工建設株式会社
 三機環境サービス株式会社
 三機パートナーズ株式会社
 三机建筑工程(上海)有限公司(中国)
 タイ三機エンジニアリング&コンストラクション社(タイ)
 アクアコンサルト社(オーストラリア)



役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役会長	長谷川 勉	専務執行役員	三石 栄司
代表取締役社長	石田 博一	常務執行役員	本松 卓
取締役	三石 栄司		白木 博之
	本松 卓		杉浦 繁
	工藤 正之		國廣 正年
	福井 博俊		廣瀬 幹男
	川辺 善生		朝倉 和昭
	山本 幸央		福田 順一
	額賀 信	執行役員	工藤 正之
	柏倉 和彦		名取 秀雄
常勤監査役	人見 悦司		富田 弘明
	齊藤 一男		福井 博俊
監査役	藤田 昇三		矢野 憲一
	跡見 裕		川辺 善生
	江頭 敏明		泉 和男
			穴口 常明
			苅部 郁生
			飯嶋 和明
			太田 伸祐
			苑田 敬治郎
			山中 庸詳
			松本 昌彦
			門脇 公夫
			鹿田 晃彦
			成瀬 安計
			勝野 耕治
			本川 忠行
			青木 伸一
			中村 諭史
			野口 哲
			岩崎 恭士
			波多野 宏行
			新保 順一
			浅沼 辰夫
			岩井 良博
			寺崎 毅史
			砂田 直人